



## 小島友実の あの馬の STORY

### リスペクトアース

リスペクトアース。椎名さんによると、「頭も良いですよ」とのことです

今年10月24日の東京競馬場での新馬戦を逃げ切り勝ちした「リスペクトアース」の馬名の意味は「敬意+母名の一部」。お母さんの名前はアースグリーンで、この馬もグリーンファームの所有馬であり、リスペクトアースと同じく小笠倫弘厩舎に所属していました。

「アースグリーンはターミナル戦しましたが骨折した事も影響し、残念ながら勝ち上がる事は出来ませんでした。でもアースグリーン産駒で血統的にも期待馬でしたし、怪我をしなければ上のクラスに行けるボナンザヤルのある馬だったからでも思っていまω」

母となつたアースグリーンの初仔となりのガリスペクトアース。小笠調教師がこの馬を初めて見たのは、生まれて間もない春の事だったのです。

「河野二郎社長から初仔が生まれたとお聞きして、すぐに牧場へ見にいきました。当初から骨格がしつかりしていく初仔のしかばね雰囲気でしたね。好馬体でしたよ」

2歳となりた1月に美浦に入厩。デビューレースに向けての調整が始まました。

「当初は緩い所もありました。1週前追い切りで初めて追われる形になつて、馬が変わつていきましたね。最終追い切りではグンと反応が良くなつてしましました。2週前追い切りで乗ってくれた戸崎圭太騎手も手応えを掴んでくれていましたし、我々としても上のクラスまでは行けそうかなという思いは抱いていました。ただ、ゲート練習での

今年10月24日の東京競馬場での新馬戦を逃げ切り勝ちした「リスペクトアース」の馬名の意味は「敬意+母名の一部」。お母さんの名前はアースグリーンで、この馬もグリーンファームの所有馬であり、リスペクトアースと同じく小笠倫弘厩舎に所属していました。

「上がり3ハロンも33秒8の俊敏さで、アースグリーンはターミナル戦しましたが骨折した事も影響し、残念ながら勝ち上がる事は出来ませんでした。でもアースグリーン産駒で血統的にも期待馬でしたし、怪我をしなければ上のクラスに行けるボナンザヤルのある馬だったからでも思っていまω」

母となつたアースグリーンの初仔となりのガリスペクトアース。小笠調教師がこの馬を初めて見たのは、生まれて間もない春の事だったのです。

「河野二郎社長から初仔が生まれたとお聞きして、すぐに牧場へ見にいきました。当初から骨格がしつかりしていく初仔のしかばね雰囲気でしたね。好馬体でしたよ」

2歳となりた1月に美浦に入厩。デビューレースに向けての調整が始まました。

「最初は緩い所もありました。1週前追い切りで初めて追われる形になつて、馬が変わつていきましたね。最終追い切りではグンと反応が良くなつてしましました。2週前追い切りで乗ってくれた戸崎圭太騎手も手応えを掴んでくれていましたし、我々としても上のクラスまでは行けそうかなという思いは抱いていました。ただ、ゲート練習での

スタートが少し遅くなつて大型馬なので、新馬戦向こうはどうかもどうかと思いました」

しかし、実戦に行つたリスペクトアースは好スタートからハナに立つレースを見せ、快勝したのです。

「上がり3ハロンも33秒8の俊敏さで、アースグリーンはターミナル戦しましたが、初戦の内容は来年のクラシックで恵まれて勝つた内容ではなかたと思います。これからが考えたい以上の力を持つことになり感じました」

初戦勝ちの後、11月5日に小笠厩舎を訪ね、リスペクトアースを担当する椎名計厩舎員にもお話を聞きました。

「パドックでも落ち着いていたように普段も大人しい馬です。大きな音がすると立ち上がりたり、大型馬のわりに気の小さい所はありますけどね。乗り運動で跨るといい、背中の感触が凄く良いんです。私は以前、ファイアーフロート（2010年京成杯HJ優勝馬）を担当していましたが、オープンのみで行く馬は早い段階から走つてあわや的な雰囲気を持つりますよね。リスペクトアースもそこらへオーブン馬になれそうな雰囲気があります。トモがパンとしてくれば更に良くなると思つますよ」

こんな話を馬房の前で椎名さんと一緒にしている中、ここからリスペクトアースが前掻きをして、飼葉桶を噛み始めました。すれど、「せよせよ、もう飼葉の時間だからね」と椎名さん。しかも自己主張も出来ぬリスペクトアース君は、「飼葉食いも良いですよ。いつも残らずす食べますよ」と、内臓面も問題ないのか？」と



リスペクトアースと椎名厩舎員

#### profile

グリーンチャンネル「トラックマンTV」（毎週金曜19:00～20:30）、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンにはお馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。